

●ミニフォト

異国の文化に触れる



みんなでダンス

そうじゃ インターナショナル フェスタが11月18日、カミガツジプラザで開催されました。訪れた人はブラジルやフィリピンなど10か国の人による歌や踊り、料理などを通じて互いの文化を知り、交流を深めていました。

新鮮な農産物を販売



農産物を買求める人

秋の収穫祭と感謝の日が、サンロード吉備路で11月23日に開かれました。新鮮な野菜や花、加工品などが販売され、買い物客でにぎわいました。また、姉妹都市の長野県茅野市のリンゴを求める人の行列ができていました。

100歳おめでとう



祝福され笑顔の木梨さん

木梨艶子さん(久代)が11月28日に、満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。昔から洋裁が好きだったという木梨さん。長寿の秘訣は、規則正しい生活を送られてきたことだそうです。

勇壮な演奏を楽しむ



備中温羅太鼓の演奏

和太鼓フェスティバルが11月25日に市民会館で開催されました。備中温羅太鼓や山手福山合戦太鼓など市内の7団体が和太鼓の演奏を披露。訪れた約650人の観衆は迫力ある打ち手の姿と太鼓の響きを堪能していました。

奇跡が奇跡でなくなる日に向かって



植物状態になった友人が徐々に回復してきたことを紹介する山元加津子さん

石川県特別支援学校教諭の山元加津子さんと筑波大学名誉教授の紙屋克子さんの講演会が12月8日、市民会館で開催されました。1000人以上が訪れ、回復の見込みが少ないと思われてきた植物状態の人が回復することを実感していました。

親子で音楽に親しむ



室内楽の演奏を楽しむ

親子で楽しむ音楽会～0歳からのコンサート～が11月25日、岡山県立大学で開催されました。訪れた約450人の親子は、岡山フィルハーモニック管弦楽団によるクラシックや童謡、アニメソングなどの演奏を楽しみました。

歴史あふれる郷土を再発見



講演を行う松木武彦教授

吉備路再発見講演会が11月17日、備中国分寺の客殿で行われました。松木武彦岡山大学大学院教授が「東アジアの中の吉備と巨大古墳」と題し講演。訪れた約100人の聴衆は、吉備路の歴史的価値を改めて認識していました。

憧れの選手とふれあう



指導を受ける子ども

子ども夢プロジェクト「岡山湯郷ベルサッカー教室」が11月18日、総社北公園陸上競技場で開かれました。参加した約80人の子どもは、ミニゲームなどを行い、宮間あや、福元美穂ら憧れの選手との貴重な時間を楽しみました。

本格的な舞台を堪能



舞台のワンシーン

語りの舞台「記憶」が11月30日、山手公民館で開催されました。平和をテーマに、戦争で亡くなった人の記憶をめぐる朗読芝居を市内外の劇団員らが披露。訪れた約200人の観衆は本格的な舞台を堪能しました。

本の楽しさを知る

一日こども図書館フェスティバル

市図書館開館30周年記念事業として一日こども図書館フェスティバル in そうじゃが11月25日、市図書館と総合福祉センターで開催されました。

立石憲利さんの民話の語りやくらしき作陽大学児童文化部ぱれっとのミュージックパネルシアター、ドリームブックネット総社の「おはなしいっぱい子どもの広場」などのイベントを実施。また、図書館たんけんクイズをはじめ、のぼり人形やアイスクリームを作る体験コーナーも人気を集めていました。



ライトアップされた紅葉に見入る人々



スポーツとふしぎ体験

そうじゃわくわくフェスティバル

そうじゃわくわくフェスティバルが11月17日、市スポーツセンターで開催されました。バスケットボール全日本コーチの納谷幸二さん、社会人野球クラブチーム倉敷ビーチャックス、実業団サッカークラブ三菱水島F.C.のスポーツ教室などを実施。また、マイナス196度の液体ちっ素に野菜やスーパーボールを入れて変化を見る実験やプラ板づくりなどのふしぎ体験もあり、参加した約1200人の子どもたちの楽しそうな声が会場に響いていました。



鼓笛隊演奏を披露する神在幼稚園の園児



くらしき作陽大学児童文化部ぱれっとのミュージックパネルシアターを楽しむ親子連れら



民話の語りを披露する立石さん



ドリームブックネット総社の人形劇

幻想の紅葉を堪能

宝福寺ライトアップ

宝福寺のライトアップが11月16日から18日までの3日間行われました。仏殿や紅葉した木々をはじめ、この事業では初めて三重塔をライトアップ。訪れた人たちは、幻想的な夜の紅葉に魅せられていました。



バスケットボール全日本コーチの納谷幸二さんを学ぶ「写真上」。ふしぎ体験で液体ちっ素に野菜を入れる実験に興味津々「写真左」

火の怖さを学び続けて30年

神在幼稚園幼年消防クラブ創立30周年

創立30周年を迎えた神在幼稚園幼年消防クラブが11月24日、記念式典を同幼稚園と神在小学校で行い、園児や神在小学校の児童、地域住民ら約200人が節目の年を祝いました。

同クラブは昭和58年に総社市初の幼年消防クラブとして結成。以来、子どもが火の恐ろしさや大切さを学ぶと同時に、活動を通じ、安心して暮らせる神在地区になるよう努めています。